

平成 22 年 4 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマウ
 代表者名 代表取締役社長 権藤 勇夫
 (JASDAQ・コード 5284)
 問合せ先
 役職・氏名 常務取締役管理本部長
 中村 健一郎
 電話 092-872-3301

特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年3月期において、特別損失が発生しますのでお知らせするとともに、平成22年2月5日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の発生およびその内容

(1) 固定資産の減損損失

当社は、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、下記の資産で減損処理を行い、当期末において1億41百万円の減損損失を特別損失に計上いたします。

名称及び場所	用途	種類	減損損失計上額
北九州工場 福岡県鞍手郡小竹町	土木製品製造設備	建物、構築物、機械装置、 工具器具及び備品 他	80 百万円
REC工場 宮崎県児湯郡川南町	土木製品及びレジコン クリーン製品製造設備	建物、構築物、機械装置、 工具器具及び備品 他	61 百万円

(2) 役員退職慰労引当金の計上

当社は、従来、役員退職慰労金を支出時の費用として処理しておりましたが、平成16年度を初年度とする5ヵ年の再建計画が終了したことから、役員退職慰労金規程を整備し、役員の内任期間にわたって合理的に費用配分することにより期間損益の適正化を図るため、役員退職慰労引当金93百万円を計上し、当該引当金のうち、過年度に対応する83百万円を役員退職慰労引当金繰入額として特別損失に計上いたします。

2. 平成22年3月期 通期連結業績予想の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想（A）	13,500	360	300	160	円 銭 32.64
今回修正（B）	14,859	713	716	286	60.86
増減額（B－A）	1,359	353	416	126	－
増減率	10.1%	98.1%	138.7%	78.8%	－
（ご参考）前期実績 （平成21年3月期）	13,328	△133	△133	△254	△56.51

3. 平成22年3月期 通期個別業績予想の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想（A）	11,350	300	250	150	円 銭 30.42
今回修正（B）	12,470	611	576	253	53.64
増減額（B－A）	1,120	311	326	103	－
増減率	9.9%	103.7%	130.4%	68.7%	－
（ご参考）前期実績 （平成21年3月期）	11,774	△138	△155	△303	△67.43

4. 修正理由

通期の業績につきましては、売上高については、営業強化による受注確保に努めた結果、売上が堅調に推移し、前回予想に比べ連結で13億59百万円、個別で11億20百万円増加する見込みであります。

利益面につきましては、徹底したコスト削減及び生産性の向上による収益性の改善の取組みが奏功し、前回予想を大きく上回る見通しとなりました。その結果、営業利益は連結で7億13百万円（前回予想より3億53百万円の改善）、個別で6億11百万円（前回予想より3億11百万円の改善）、経常利益は連結で7億16百万円（前回予想より4億16百万円の改善）、個別で5億76百万円（前回予想より3億26百万円の改善）となる見込みであります。なお、当期純利益につきましては、上記1の特別損失を計上したことなどにより、連結で2億86百万円（前回予想より1億26百万円の改善）、個別で2億53百万円（前回予想より1億3百万円の改善）となる見込みであります。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後様々な要因の変化により実際の業績とは異なる場合があります。

以 上